

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 7 年 6 月 25 日 (水)
クラス名(年齢)	うさぎ組(2歳児)

1、活動テーマ

<テーマ>

レインハウスで雨を感じよう

<テーマの設定理由>

前回雨に興味を持ち、目だけでなく音でも感じる事が出来たので、自分の体を覆うように雨を全身で感じられるよう、レインハウスの中に入り雨を感じてみる。

2. 活動スケジュール

雨の日。雨脚が強い時に活動を行う

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

太鼓橋・透明のビニール袋(厚め)・ガムテープ(強力)・靴・段ボールついたて(屋根のない外に出ないよう)

4、探究活動の実践

<活動内容>

雨が強い日に太鼓橋にビニールをかけレインハウスを作る。4.5 人ずつ順番に靴を履きテラスから併設された太鼓橋の中に入る。「あめぬれない」と屋根に気付く子もいた。先日、音で雨を知ったので耳を澄ましてよく聞き、「あめ」と屋根に落ちる雨を知らせてくれる。今回は重ね合わせただけなので、屋根にたまった雨水をしたから押すと屋根を伝って落ちる事に気付き、何度も流していたが、重ね合わせただけなので隙間から雨が入り手が濡れてしまう。すると隙間がる事に気付き、隙間から指を出して雨に触れたり、穴が大きくなると濡れてしまう事に気付きて助けを求める子もいた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 前回の経験からすぐに上を見て「あめ！あった」と喜んで教えてくれる。音がするところを触てみると、溜まっていた雨がしずくになって下に流れていく。次々触り、しずく流しに夢中になっていた。 	② ビニールの屋根を触ってしずく落としに夢中になるが、押すとシートがずれる事に気付き、手が雨で濡れる事を発見。雨に触る事に夢中になるが、穴が大きくなり自分が濡れてしまい慌てて「やねこわれちゃった」と教えてくれたので直す。直るとわかり安心してたくさん触る事ができた。  
③ 届くところはしずくにして流してしまったが、届かない所に水が溜まっている事に気付き指差して教えてくれる。届かない事もアピールしていたので抱っこで順番に触る。流すよりも下から押して感触を楽しんでいた。  	④ 部屋の前の雨どいから水が流れていることにも気付き、踏んでみようか止めようか悩んでいた。「入ってみてもいいよ」と保育士が入って見せるが、靴が汚れるのが嫌なのか入る事はなかった。  

5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

前回、雨の音を知った事ですぐに上を見あげていた。前回のテラスの屋根よりも近い所に雨があたり、また触れる事に気付くと次々シートに触り雨粒を流す事を楽しんでいた。近くに感じる事で自分から触れてみようと思えたようだ。また、楽しくなり触る力が強くなりシートがずれた事で体が雨に濡れ、シートがないと濡れる事にも気付けた。届かない所に雨が溜まっているのを見つけた子がみんなに教え、手を広げて抱いてほしいと訴え触る事ができた。水を下から見る経験も出来た。また雨どいから流れる水に気付いたが、濡れてしまうと解っているため、水たまりに入っていけない子もいたことで、普段の生活の中で靴が濡れる事を知っている子がいた事を知ることが出来た。また雨の機会が合ったらカッパを着たり、別の方法で雨に触れて大胆に体験させてあげたいと感じた。